

## 再生利用の推進が求められる背景

- 現在、分別の不徹底などにより、マテリアルリサイクルされているプラスチックは22%に過ぎない状況※1です。
  - また、ポイ捨てや不法投棄といった不適切な処理などが原因で、2050年までに海洋中のプラスチックごみの重量が魚の重量を超える※2という試算もあり、地球環境における深刻な汚染が懸念されています。
  - こういった状況を踏まえ、プラスチックの再生利用をさらに推進する必要があります。
- ※1「プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分の状況 2023年」(一般社団法人プラスチック循環利用協会、2024年12月)  
 ※2「THE NEW PLASTICS ECONOMY RETHINKING THE FUTURE OF PLASTICS」(エレン・マッカーサー財団、2016年)

## プラスチック排出時に取り組んでいただきたい事

事業活動で生じたプラスチック使用製品は、できるだけ排出抑制やリサイクルに取り組んでください。どうしても廃棄物となってしまったものについては、以下に留意して排出してください。

1 分別の徹底	プラスチック以外の廃棄物と分別しましょう。リサイクルを妨げる忌避物の混入を防止しましょう。
2 適正な委託処理	適正な費用で、適正な事業者を引き渡しましょう。
3 処理委託先との連携	効率よいリサイクルのため、処理業者、リサイクル事業者、リサイクル製品利用事業者と密に連携しましょう。
4 その他	処理委託先に、プラスチックの成分組成等の情報を提供しましょう。自社の排出抑制やリサイクルなどの状況に関する情報をインターネットなどで公表しましょう。

## かながわプラごみゼロ宣言

神奈川県は、プラごみ問題の解決のために「かながわプラごみゼロ宣言」を掲げています。この宣言の実現のために、「神奈川県プラスチック資源循環推進等計画」を策定しています。



### 神奈川県プラスチック資源循環推進等計画とは

プラスチックの資源循環を推進するため5つの推進方策により取り組みを進めます。

- 1 プラスチック使用製品の使用の合理化の促進
- 2 プラスチックの再生利用等の促進
- 3 クリーン活動の拡大等
- 4 普及啓発・環境教育
- 5 実態調査等

この宣言に賛同し、具体的に取り組む企業を募集しています。右の二次元コードからぜひご応募ください！



## かながわりサイクル認定製品

神奈川県では、循環資源を原料として利用し、品質や安全性など一定の基準を満たした製品を「かながわりサイクル認定製品」として認定しています。



### 認定製品について

- ・25製品認定(2026年2月現在)
- ・うち廃プラスチック再生製品5製品

### ねらい

環境にやさしい製品の優先利用を促すことでリサイクル製品の需要を高め、資源を循環利用する社会づくりを目指します。

環境保護のために、「かながわりサイクル認定製品」を選んでみませんか？



※このリーフレットは神奈川県からの受託事業として、公益社団法人神奈川県産業資源循環協会が作成しました。

発行2026年2月

神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課  
 横浜市中区日本大通 1 〒231-8588 電話(045)210-1111(代表)

# かながわの プラスチックリサイクル業者

プラスチック排出事業者の皆様へ

プラスチックごみの発生抑制とリサイクルにご協力ください

## マテリアルリサイクル

廃プラスチックをプラスチックのまま原料として再生利用する手法

廃プラスチックを選別・不純物除去し、破碎、洗浄したもの(フレーク化)、フレークを熔融、粒状化(ペレット化)



ペレット

## ケミカルリサイクル

廃プラスチックを科学的な原料として再生利用する手法

原料・モノマー化、高炉還元剤、コークス炉化学原料化、ガス化化学原料化など



ケミカルリサイクル原料

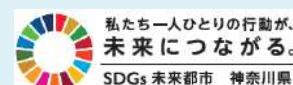
## サーマルリカバリー(熱回収)

廃プラスチックを燃焼させる際に発生する熱エネルギーを回収して有効利用する手法

セメント原燃料化、固形燃料化(RPF・RDF・フラフ)、ごみ発電など



圧縮されたフラフ燃料



## マテリアルリサイクルの一例



# かながわのプラスチックリサイクル業者

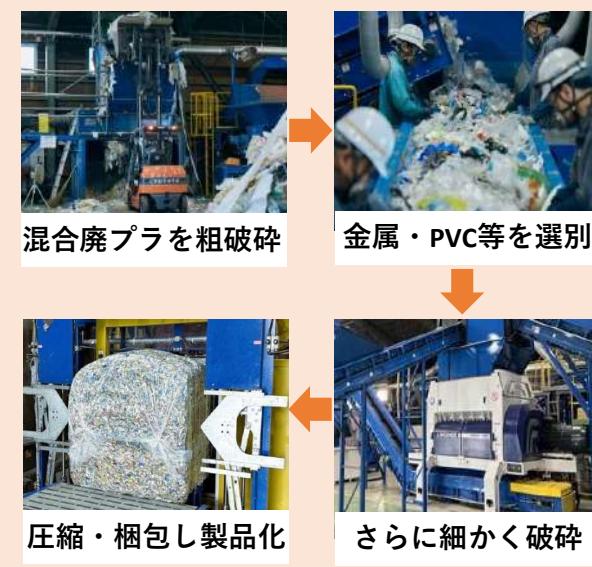


## プラスチックリサイクル手法

リサイクルの優先順位  
マテリアル>ケミカル>サーマル

マ マテリアル リサイクル	再生利用 ・プラスチック原料化 ・プラスチック製品化
ケ ケミカル リサイクル	原料・モノマー化、 高炉還元剤、ガス化等
サ サーマル リカバリー	燃料化、ごみ発電、 セメント原燃料化

## サーマルリカバリーの一例 (フラフ燃料化)



### ① (株) 旭商会

相模原市緑区下九沢2096-1  
TEL: 042-771-3558 FAX: 042-774-8150  
URL <https://www.asahi-shoukai.co.jp/>

マ サ

マテリアルリサイクル (プラ原料化)  
サーマルリカバリー (フラフ燃料化)  
(RPF燃料化)

受入可	下記以外の廃プラスチック
受入不可	塩素含有、金属付着、溶剤付着、汚損物など

### ② (株) グーン

横浜市金沢区鳥浜町17-3  
TEL: 045-228-8960 FAX: 045-228-8961  
URL <https://www.guun.co.jp/>

マ サ

マテリアルリサイクル (プラ原料化)  
サーマルリカバリー (フラフ燃料化)  
(RPF燃料化)

受入可	プラスチック容器、梱包フィルム、 包装材料、リサイクル工場の残渣プラ、 エアキャップ等
受入不可	塩素製品・塩素検出品 (塩素含有0.3%以上)、 不燃品・ゴム製品類・FRP、発火物など

### ③ (株) 三凌商事 三凌愛川リサイクルセンター

愛甲郡愛川町中津6766  
TEL: 046-284-5566 FAX: 046-285-3336  
URL <https://tyo-sanryo.co.jp>

マ

マテリアルリサイクル (プラ原料化)

受入可	発泡スチロール (EPS)、PE (ポリエチレン)、 PP (ポリプロピレン)、PET (ポリエチレンテレフタレート)、 PS (ポリスチレン)、ABS (アクリロニトリルブタジエンスチレン)
受入不可	臭気強いもの、油分・食品残渣・泥 など汚れが付着したもの

### ④ J&T環境 (株)

川崎市幸区堀川町580 リット`スクエア3F  
プラスチックリサイクル営業部  
TEL: 044-330-9477 FAX: 044-511-1501  
URL <https://www.jt-kankyo.co.jp/>

マ ケ サ

マテリアルリサイクル (プラ原料化)  
ケミカルリサイクル (コークス炉化学原料化)  
(ガス化原料化)  
サーマルリカバリー (RPF燃料化・ごみ発電)

受入可	フィルム系、固形 (一辺最大長1m超のものは前処理可否判定実施)
受入不可	高塩素濃度樹脂 (PVC、PVDC等) 高含水率、有機物等の付着、臭気発生源等の混入の場合、ごみ発電での受け入れ

### ⑤ 神鋼産業 (株)

伊勢原市下谷1257  
TEL: 0463-91-3663 FAX: 0463-91-3664  
URL <https://www.Shinko-industries.co.jp/>

マ サ

マテリアルリサイクル (原料・資源化)  
サーマルリカバリー (ボイラー用燃料)  
(製鉄用原燃料)  
(セメント焼成用原燃料)

受入可	タイヤ全般、ゴムクローラー・パット、コンベアベルト、ゴムマット、高圧ホース、圧送ホース、ゴムホース、防舷材、マリンホース、オイルフェンス、免振ゴム
受入不可	上記品目でも土、泥、石、コンクリート、貝類、油類は取り除いてください

### ⑥ (株) タズミ

綾瀬市吉岡709  
TEL: 0467-77-1847 FAX: 0467-77-1936  
URL <http://www.tazumi.jp/>

マ サ

マテリアルリサイクル (プラ原料化)  
サーマルリカバリー (RPF燃料化)

受入可	PP (ポリプロピレン)、PE (ポリエチレン)、PS (ポリスチレン)、 ABS (アクリロニトリルブタジエンスチレン)、PA (ポリアミド)、 POM (ポリオキシエチレン)、PET (ポリエチレンテレフタレート)、PC (ポリカーボネート)、PU (ポリウレタン)
受入不可	PVC (塩ビ)、PF (フッ素樹脂)、 熱硬化性樹脂、ガラス繊維含有樹脂

### ⑦ 中央カンセー (株)

厚木市恩名1-11-31  
TEL: 046-221-1102 FAX: 046-225-6099  
URL <http://chuohkanse.com/>

マ サ

マテリアルリサイクル (プラ原料化)  
サーマルリカバリー (RPF燃料化)

受入可	ペットボトル、発泡スチロール、 下記以外の廃プラスチック 状態により対応できない場合あり
受入不可	塩ビ系 (建設系配管類は除く)、 複合材のプラ (FRP等)、 有機物の付着・臭気の強いもの

### ⑧ 都市環境サービス (株)

相模原市南区鶴野森2-25-12  
TEL: 042-744-0551 FAX: 042-744-4112  
URL <https://eco-toshikan.com/>

マ サ

マテリアルリサイクル (プラ原料化)  
サーマルリカバリー (フラフ燃料化)

受入可	PP (ポリプロピレン)、PS (ポリスチレン)、 PE (ポリエチレン)、PC (ポリカーボネート) など
受入不可	基本なし 不明なプラは応相談